

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	3 年	美 術

1 学習のねらい等

学習のねらい	○ 絵画（鉛筆デッサン、自画像） ・ ものの見方や感じ方を深め、対象の色・形や明暗をとらえて立体的に表現する。 ・ 自分自身を客観的に見つめ、自分自身を表現するための工夫を考えて表す。 ○ デザイン・工芸（寄せ木クォーツ） ・ 木の自然の色合いや木目の美しさを生かして発想する。 ・ 条件に基づいてデザインを考案し、美しい図柄や模様を表現する。 ○ 鑑賞 ・ 作者の心情や表現の意図、工夫を理解し、表現されている内容を味わう。
使用教材	教科書：美術2・3上「学びの深まり」、下「美の探求」（日本文教出版） 副教材：美術資料（秀学社） 使用教材：鉛筆、色鉛筆、スケッチブック、アクリルガッシュ、ケントボードなど

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点		評 価 の 方 法
① 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	【全単元共通】 ・ よりよい作品をつくるため、課題を理解し、集中して制作できる。 ・ 作品やプリントを期日までに提出することができる。 ・ 協力して準備や片付けができる。 ・ 自他の作品を大切に扱うことができる。	・ 授業態度 ・ 準備物 ・ 提出物 ・ 定期テスト（筆記）
② 発 想 や 構 想 の 能 力	【絵画】 ・ 対象の特徴をとらえて、発想し、構成できる。 ・ 自分のイメージに合った表現を考えて制作できる。 【デザイン・工芸】 ・ 条件に基づいて発想し、構成できる。	・ アイデアスケッチ ・ 作品 ・ 定期テスト（実技）
③ 創 造 的 な 技 能	【絵画】 ・ 鉛筆・色鉛筆の使い方を工夫して、材質感や立体感を表すことができる。 ・ 細部の描き方や配色を工夫することで、より効果的に表すことができる。 ・ 自分のイメージに合った表現方法を考えて制作できる。	・ ワークシート ・ 作品 ・ 定期テスト（実技）

	【デザイン・工芸】 ・材料の特徴を理解し、丁寧に制作することができる。	
④鑑賞の能力	【全単元共通】 ・自他の作品のよさや美しさを味わい、表現方法を感じ取ろうとする。 ・対象に向かう作者の姿勢や表現上の特色などを感じ取りながら、作品の魅力を味わうことができる。	・ワークシート ・定期テスト（鑑賞）

3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	工芸（篆刻）2年生の内容 ※鈕の制作の続き	② 印材の特徴を理解し、持ちやすさや美しさのある形を発想することができる。 ③ 印材や用具の特性を生かし、細部まで美しく仕上げることができる。
	鑑賞	④ 作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図、工夫について考え、自分の見方を深める。 お互いの発見や感動の喜びを尊重し共有することができる。
	絵画（鉛筆デッサン）	② 対象の特徴をとらえて、構成できる。 ③ 形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。
	絵画（自画像）	② 自分自身を見つめ、感じ取り、表現方法を工夫することができる。 ③ 頭・顔の各部の比率に注意しながら描くことができる。 自分自身を見つめ、感じ取ったことを自分なりの方法で描くことができる。
	定期テスト（鉛筆デッサン）	② ものの見方を深め、表現方法を工夫して豊かな発想ができる。 ③ 形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。

二 学 期	絵画（自画像）	② 自分自身を見つめ、感じ取り、表現方法を工夫することができる。 ③ 頭・顔の各部の比率に注意しながら描くことができる。 自分自身を見つめ、感じ取ったことを自分なりの方法で描くことができる。
	定期テスト（鉛筆デッサン）	② 対象の特徴をとらえて、構成できる。 ③ 形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。
	鑑賞（自画像）	④ 作品のよい点、気づいた点、疑問点など自分の見方を深める。 お互いの発見や感動の喜びを尊重し共有することができる。
	デザイン・工芸（寄せ木クオーツ）	② 条件に基づいて発想し、木の自然の色合いや木目を生かした画面を美しく構成することができる。 ③ 木の特徴を理解し、イメージに合わせて制作することができる。
三 学 期	デザイン・工芸（寄せ木クオーツ）	② 条件に基づいて発想し、木の自然の色合いや木目を生かした画面を美しく構成することができる。 ③ 木の特徴を理解し、イメージに合わせて制作することができる。
	卒業テスト（鉛筆デッサン）	② 対象の特徴をとらえて、構成できる。 ③ 形の特徴や明暗を捉え、立体感を表すことができる。

4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	・ 真剣な態度で授業に臨みましょう。授業に対する姿勢が作品に表れます。授業と関係のないお喋りをしながらではよい作品はできません。 ・ 忘れ物に気をつけましょう。学校では貸し出しは行いません。友達から借りることもしません。自分の用具で作品づくりに臨みましょう。 ・ 提出期日を守りましょう。作品が提出されていなければ評価できません。
	家庭	・ 「ものを見る目」「ものごとを感じる心」を育てましょう。美術館や博物館はもちろんですが、テレビ、雑誌、お店の看板やポスター、本の表紙や挿絵などを注意深く見てみましょう。また、身近な自然（草花、空、川など）にも心を傾けてみましょう。世の中にはたくさんの「いろ」と「かたち」があふれています。作品づくりのヒントを見逃さないよう、アンテナを高く持っていてください。 ・ 定期テスト前には、鉛筆デッサンの練習をしましょう。デッサンは、描けば描くほど上達します。あきらめずに取り組みましょう。

